



**Belue Creative**

# SPM 基本操作マニュアル

2018/04/03

株式会社ベルウクリエイティブ

## はじめに

### 本書の目的

本書では SPM における初期の基本操作方法を解説します。

## 目次

はじめに .....	1
目次.....	2
1 ログイン .....	3
2 ホスト登録.....	4
3 検査プログラムダウンロード.....	5
4 ホストの検査 .....	6
4.1 検査プログラムの実行.....	6
4.1.1 Windows サーバでの検査プログラムの実行.....	6
4.1.2 Linux サーバでの検査プログラムの実行 .....	9
4.2 分析レポート画面について.....	10
5 検査結果の表示 .....	12
6 検査結果のダウンロード.....	12
7 お問い合わせ .....	13

## 1 ログイン

ご登録【メールアドレス】、【パスワード】を入力し、ログインしてください。

⇒ログイン

メールアドレス  
xxxxxxx@xxxx.jp

パスワード  
.....

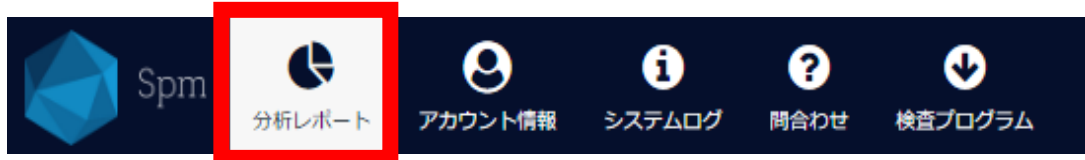
パスワードを忘れた方はこちら>

ログイン⇒


SPM のログイン画面

## 2 ホスト登録

上部のメニューバーより、「分析レポート」画面が表示されていることを確認します。

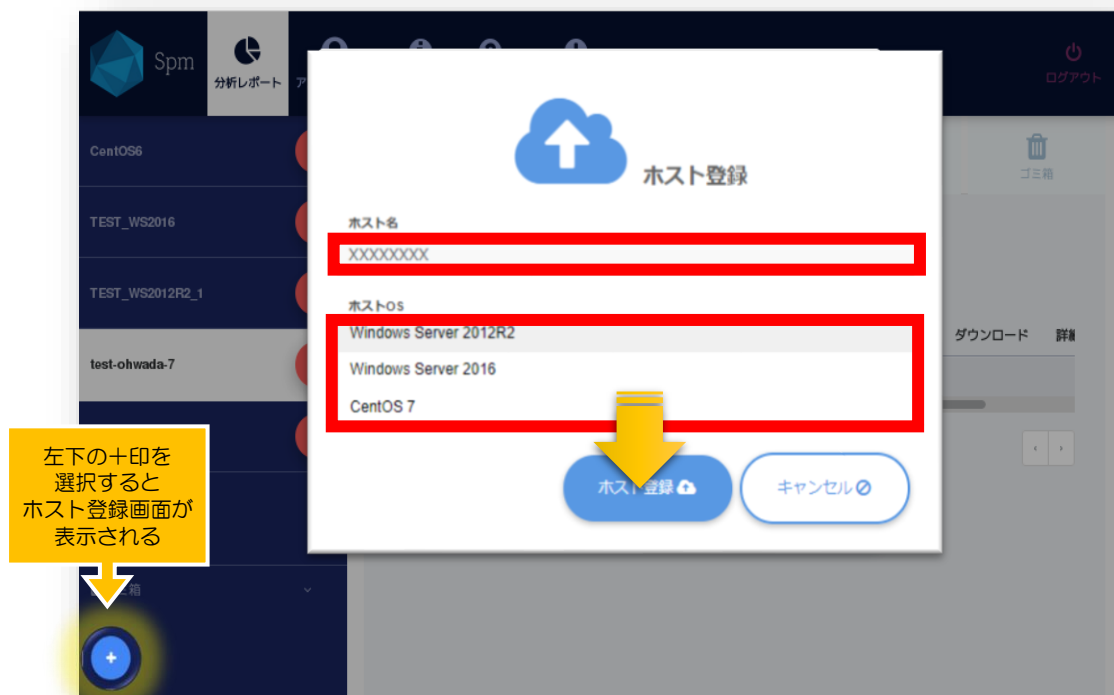


メニューバー

「分析レポート」画面左下の  を選択し、「ホスト登録」画面を開きます。  
【ホスト名】を入力、【ホスト OS】を選択し、ホスト登録を行います。

【ホスト名】：任意のホスト名

【ホスト OS】：分析対象となる OS を選択



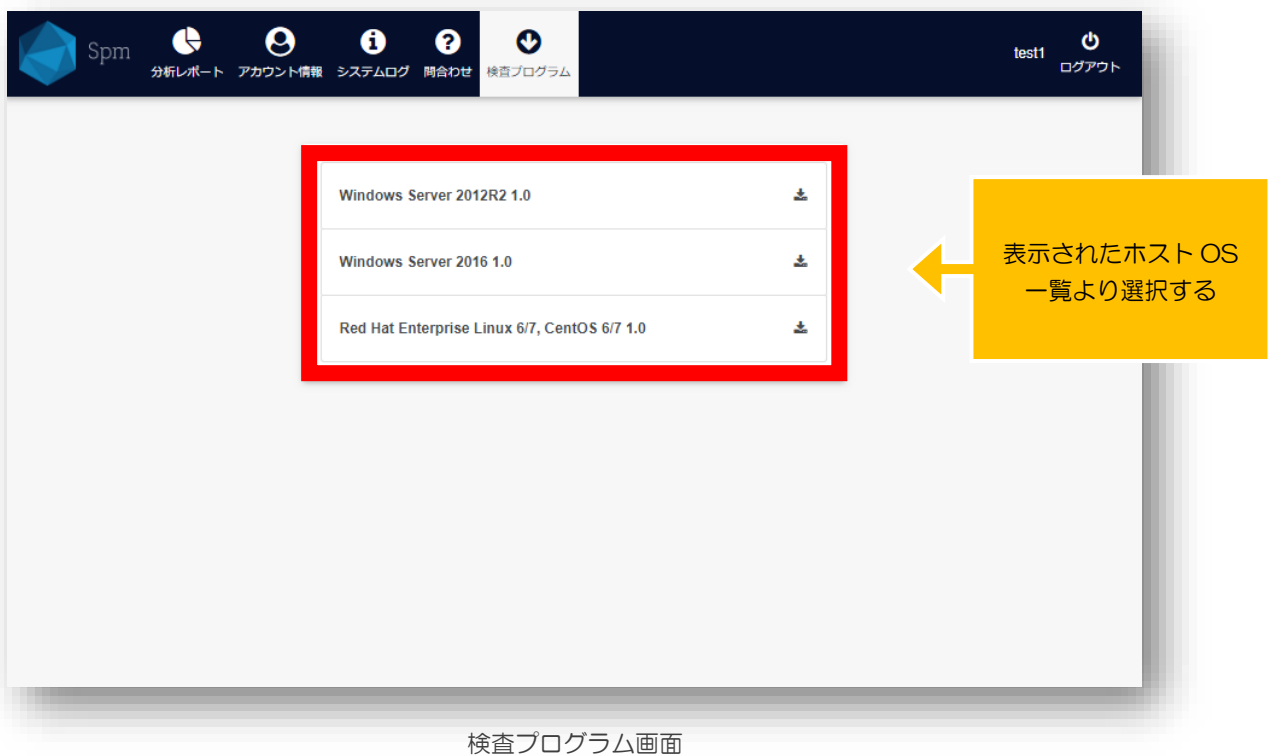
ホスト登録画面

### 3 検査プログラムダウンロード

上部のメニューバーより、「検査プログラム」画面を選択します。



「検査プログラム」画面のホスト OS 一覧より、前項のホスト登録で選択した OS を選び、任意のディレクトリにダウンロードします。



## 4 ホストの検査

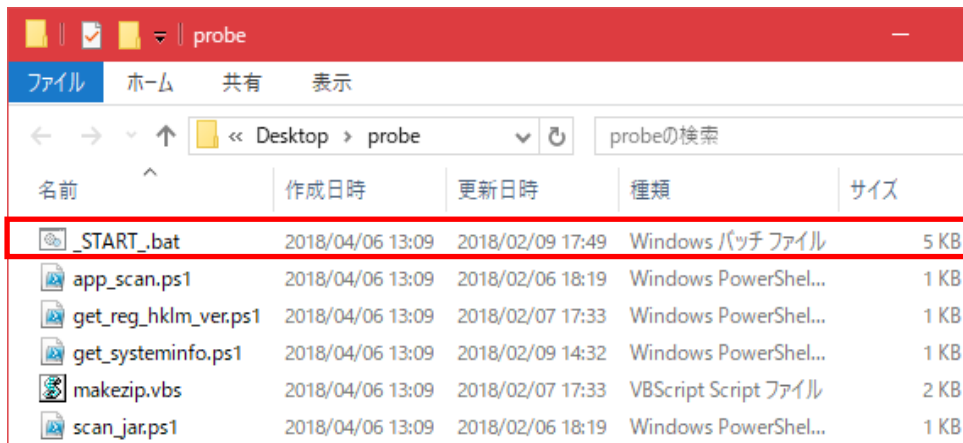
### 4.1 検査プログラムの実行

前項でダウンロードしたフォルダを展開し、「\_START\_」を実行します。

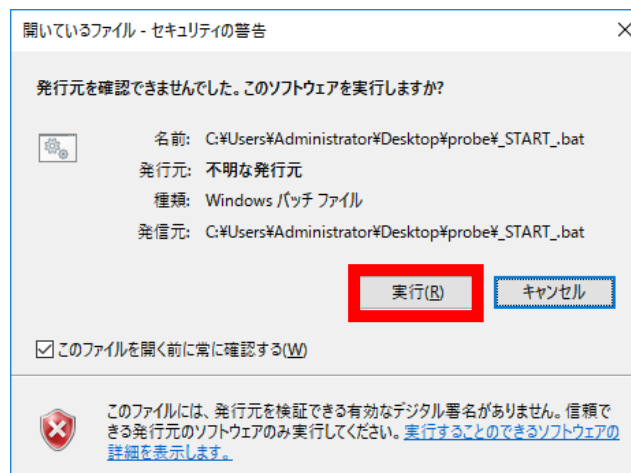
#### 4.1.1 Windows サーバでの検査プログラムの実行

ダウンロードした検査プログラムを検査対象のサーバ上の任意のディレクトリに展開します。展開すると以下のファイルが存在し、「\_START\_」ファイルをダブルクリックし実行します。

バッチファイル「\_START\_」をダブルクリックするかもしくは右クリックして管理者として実行して下さい。



下記画面が表示された場合には実行ボタンを押下します。



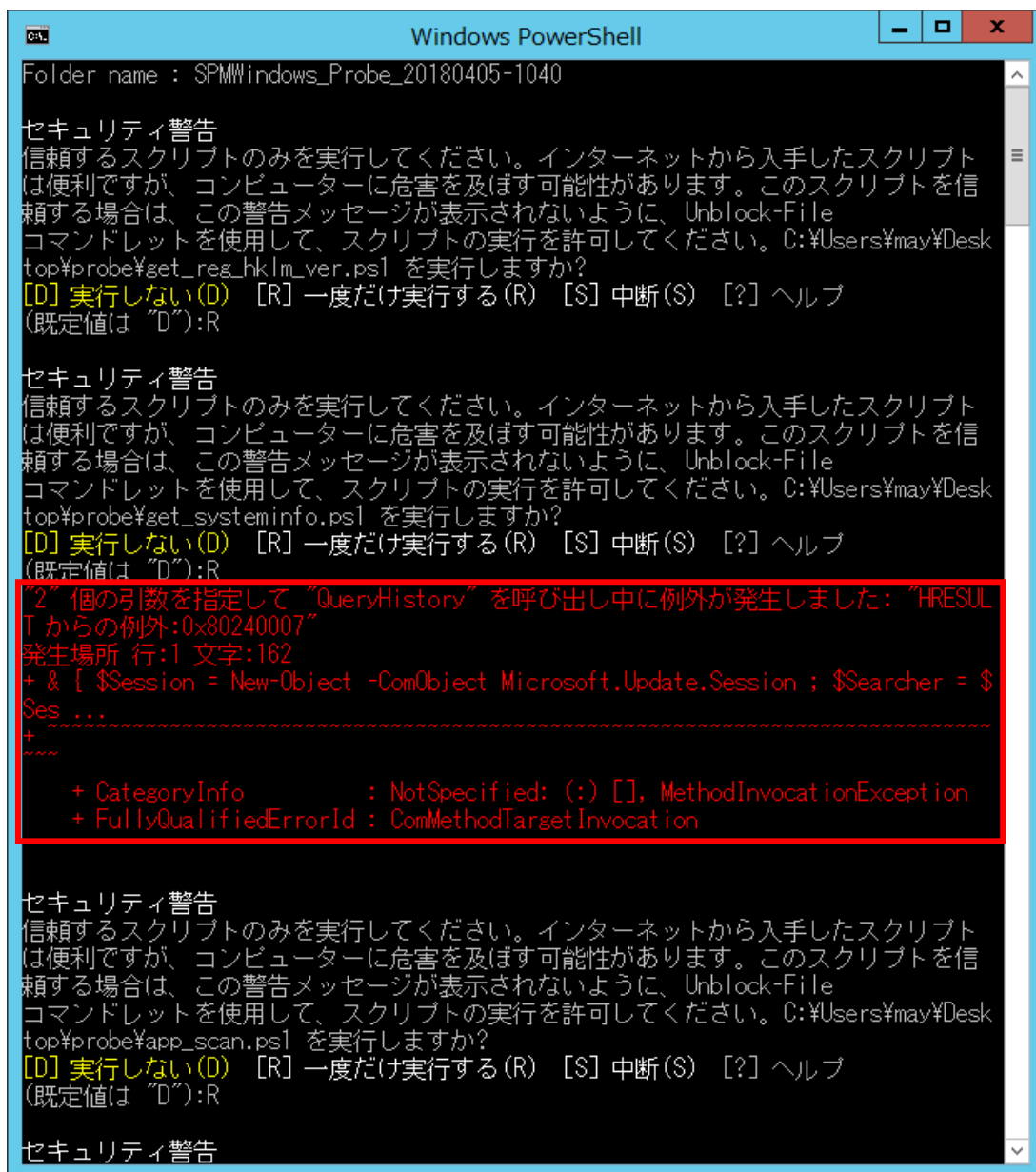
実行画面

下記画面が表示されたら、【R】ボタン(複数回[R]一度だけ事項する)を入力し、【Enter】を押します。この作業を、「正常に終了しました。」と表示されるまで繰り返すと、実行したフォルダ内に「SPMWindows\_Probe\_YYYYMMDD-xxxx.zip」ファイルが作成されていますので、確認して下さい。





「正常に終了しました。」というメッセージが表示されず、下記のエラーが表示する場合、OS の Windows Update を有効にし、再度実施して下さい。



```
ca. Windows PowerShell
Folder name : SPMWindows_Probe_20180405-1040

セキュリティ警告
信頼するスクリプトのみを実行してください。インターネットから入手したスクリプトは便利ですが、コンピューターに危害を及ぼす可能性があります。このスクリプトを信頼する場合は、この警告メッセージが表示されないように、Unblock-File コマンドレットを使用して、スクリプトの実行を許可してください。C:\Users\may\Desktop\probe\get_reg_hklm_ver.ps1 を実行しますか?
[D] 実行しない(D) [R] 一度だけ実行する(R) [S] 中断(S) [?] ヘルプ
(既定値は "D"):R

セキュリティ警告
信頼するスクリプトのみを実行してください。インターネットから入手したスクリプトは便利ですが、コンピューターに危害を及ぼす可能性があります。このスクリプトを信頼する場合は、この警告メッセージが表示されないように、Unblock-File コマンドレットを使用して、スクリプトの実行を許可してください。C:\Users\may\Desktop\probe\get_systeminfo.ps1 を実行しますか?
[D] 実行しない(D) [R] 一度だけ実行する(R) [S] 中断(S) [?] ヘルプ
(既定値は "D"):R

"2" 個の引数を指定して "QueryHistory" を呼び出し中に例外が発生しました: "HRESULT からの例外:0x80240007"
発生場所 行:1 文字:162
+ & [ $Session = New-Object -ComObject Microsoft.Update.Session ; $Searcher = $
Ses ...
+ ~~~~~
+ CategoryInfo          : NotSpecified: (:) [], MethodInvocationException
+ FullyQualifiedErrorId : ComMethodTargetInvocation

セキュリティ警告
信頼するスクリプトのみを実行してください。インターネットから入手したスクリプトは便利ですが、コンピューターに危害を及ぼす可能性があります。このスクリプトを信頼する場合は、この警告メッセージが表示されないように、Unblock-File コマンドレットを使用して、スクリプトの実行を許可してください。C:\Users\may\Desktop\probe\app_scan.ps1 を実行しますか?
[D] 実行しない(D) [R] 一度だけ実行する(R) [S] 中断(S) [?] ヘルプ
(既定値は "D"):R

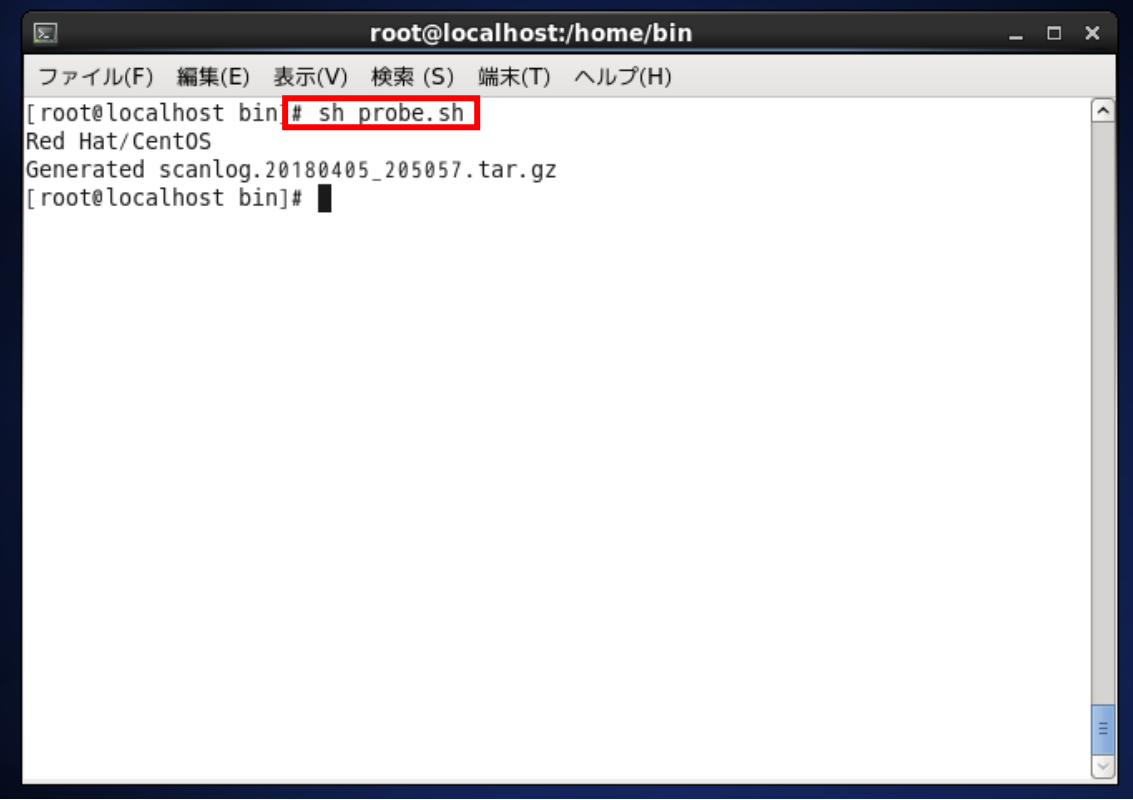
セキュリティ警告
```

#### 4.1.2 Linux サーバでの検査プログラムの実行

ダウンロードした検査プログラムを検査対象のサーバ上の任意のディレクトリで展開し「probe.sh」ファイルを実行します。

※一般ユーザーではなく、管理者ユーザーで実行して下さい。

Generated scanlog.YYYYMMDD\_HHMMSS.tar.gz と表示されたら終了です。

A terminal window titled "root@localhost:/home/bin" with a menu bar containing "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "検索(S)", "端末(T)", and "ヘルプ(H)". The terminal output shows the command "# sh probe.sh" being entered and executed. The output is "Red Hat/CentOS" followed by "Generated scanlog.20180405\_205057.tar.gz". The prompt returns to "[root@localhost bin]#".

```
root@localhost:/home/bin
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)
[root@localhost bin] # sh probe.sh
Red Hat/CentOS
Generated scanlog.20180405_205057.tar.gz
[root@localhost bin]#
```

## 4.2 分析レポート画面について

上部のメニューバーより、「分析レポート」画面を選択します。



メニューバー

「分析レポート」画面左のホスト一覧より、該当のホストを選択します。「レポート」タブの左上の + を選択し、「スキャンデータ登録」画面を開きます。



分析レポート画面

「スキャンデータ登録」画面に【スキャンデータ名】を入力し、前項で作成した【スキャンファイル】を選択し、スキャンデータ登録を行います。

【スキャンデータ名】：任意の名前

【スキャンファイル】：検査プログラムを実行した結果、作成されたファイル



The screenshot shows a web interface for scanning data registration. At the top, there is a blue cloud icon with an upward arrow and the text 'スキャンデータ登録'. Below this, there are two input fields. The first is labeled 'スキャンデータ名' and contains the text 'Centos'. The second is labeled 'スキャンファイル' and contains the text 'scanlog.20180216\_212726.tar.gz'. A large yellow arrow points downwards from the input fields to two buttons: a blue button labeled 'スキャンデータ登録' and a white button labeled 'キャンセル'.

スキャンデータ登録画面

## 5 検査結果の表示

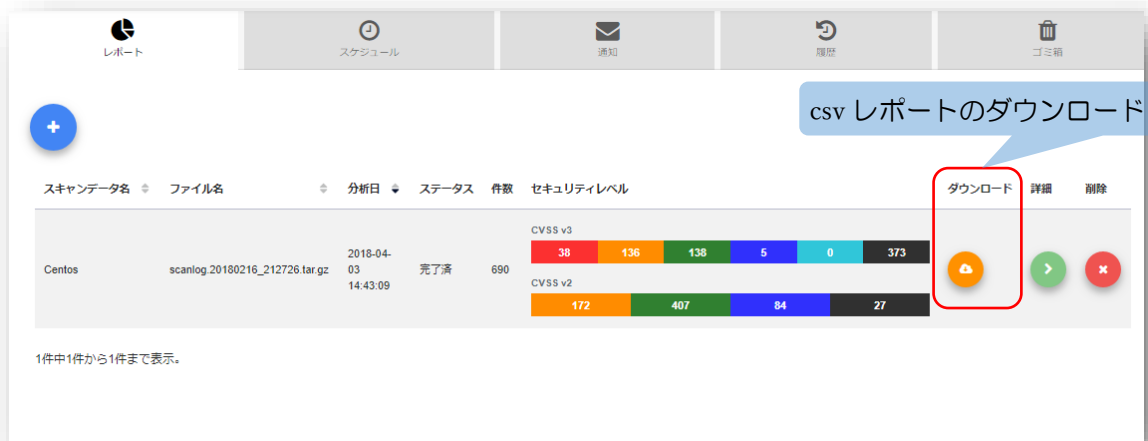
前項の『検査プログラムの実行結果』アップロード後、分析レポートが生成されます。【詳細】ボタンより、各セキュリティレベル件数の詳細を確認できます。



分析レポート画面

## 6 検査結果のダウンロード

【ダウンロード】ボタンから、検査結果レポートをダウンロードすることが可能です。



分析レポート画面

## 7 お問い合わせ

株式会社ベルウクリエイティブ  
E-Mail: support-spm@belue-c.jp

※ お問い合わせの際には、下記サイトにて事前にユーザ登録が必要です。

URL:<https://spm.belue-c.jp>

本書の著作権は株式会社ベルウクリエイティブに帰属します。  
また、掲載内容の無断転載は固くお断りいたします

Copyright (C) Belue Creative,Inc. all rights reserved.